

活動名 (教科) 生活を見つめて - 表やグラフにまとめる (国語)

対象学年 4 年

実施期間 1 2 月 ~

実践者 (所属) 田中 啓介 (真福寺小)

1. 指導にあたって

(1) この単元の特徴や指導の難しさ

- 自分たちのふだんの生活を改めて見つめ直し、興味をもったことから調査するテーマを決め、アンケート調査などを行って、論理的な報告文にまとめる学習である。
- 表やグラフを目的に応じて上手に活用し、自分の論旨に説得力をもたせることは、国語科としても大切な能力の一つであるとする。

(2) それを克服するための ICT 機器やメディアの活用 (利用の意図と工夫)

- 表計算ソフトを利用することで、簡単にグラフを作ることができるため、棒グラフや円グラフなどのグラフの種類やグラフの「たて・横」を実際に作って見比べて、より目的に応じたわかりやすいグラフ、見やすいグラフを選択することができる。

2. 単元の主な目標

- 生活の中で疑問に思ったことをアンケートなどで調べ、分かったこと・考えたことを報告する文章を書いて交流し、生活を見直す。

3. 指導計画の概要 (15 時間)

時間	学習内容	児童の活動 (利用メディア)	指導の留意点
2	● 学習の見直しをもつ。	● 興味のあることを出し合い、学習に意欲をもたせる。	
7	● 調べたいことと、調査内容、調査方法を定める。 ● アンケートを作って実施し、集計して結果を資料にまとめる。	● 話題から、その中からなにを知りたいのか挙げ、調査内容を具体化する。 ● 教科書等を参考にし、アンケート作りで大切なことを知る。 ● 表計算ソフトを利用し、目的に応じたグラフを選択し、作成する。	● アンケート調査は、全員が必ず行う。 ● 今回はジャストシステム社のジャストスマイルを利用した。
4	● 報告文を書く。	● 構成メモを利用して報告文を書き上げる。	● 「調べたこと」「調べた方法」「調べて分かったこと」「考えたこと、思ったこと」をメモさせる。
2	● 発表し意見交換をする。	● プロジェクターなどの機器を活用し、報告する。	

4. 取り組み後の子ども達の変容や成果

それまではかくのが面倒だったグラフが、表計算ソフトを使うことで、子どもたちにとって、より身近なものになった。また、子どもたちから「これは見やすい・わかりやすい」という言葉も出てきており、ICT 機器の活用により、論理的に説明しようという態度も育てることができた。

